

授業科目	国際経済入門				実務家教員担当科目	-					
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期				
担当教員	池口 功晃										
授業概要	貿易、地域統合、外国為替、国際金融、国際通貨、貧困問題、環境問題など、国際経済およびその諸問題について主要な論点を学びます。										
授業形態	講義	授業方	法								
学生が達成すべき行動目標											
標準的 レベル	<p>1. 国際貿易の役割、国際収支の読み方、貿易政策・自由貿易協定(FTA 並びに日本の EPA)をめぐる問題を説明できる。</p> <p>2. 外国為替相場を決定する要因、相場の変動が国内経済に与える影響を説明できる。</p> <p>3. 通貨危機・金融危機がどのように発生するのか、日本にどのような影響を与えるのか説明できる。</p> <p>4. 途上国の貧困問題や環境問題を説明できる。</p> <p>国際経済に関する基本的な知識を身に付け、説明することができる。</p>										
理想的 レベル	国際経済に関するさまざまな新聞・雑誌記事を理解できるようになる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合 (数値)				備考						
試験											
小テスト	50%										
レポート	50%										
発表 (口頭、プレゼンテーション)											
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリン グ	T021403J
学習課題 (予習・復習)										1回の学習目安 (時間)	
該当部分の復習										4	
授業計画											
第1回	授業ガイダンス 国際経済とは何か										
第2回	貿易理論、世界と日本の貿易										
第3回	財政政策と金融政策										
第4回	貿易政策、世界の貿易体制、FTA										
第5回	地域統合、APEC										
第6回	閉鎖マクロ経済モデル										
第7回	開放マクロ経済モデル (1)										

第 8 回	開放マクロ経済モデル (2)
第 9 回	為替レートの決定
第 10 回	国際通貨、金本位制、ブレトンウッズ体制
第 11 回	経済発展と経済開発、GDP 指標の限界
第 12 回	多国籍企業
第 13 回	世界の貧困問題と ODA
第 14 回	地球環境問題と経済学
第 15 回	総まとめ
テキスト	毎回、講義レジュメを配付します。
参考図書・教材 /データ ベース・ 雑誌等の 紹介	多和田真 (2010) 『コンパクト国際経済学』(新世社) 阿部顕三・遠藤正寛 (2012) 『国際経済学』(有斐閣)
課題に対するフィードバックの方法	小テストは採点后、返却する。
学生へのメッセージ・コメント	経済学の入門レベルの講義を履修しておくことが望ましいですが、授業を通して講義に必要な知識を随時復習していきます。 普段から経済記事や経済ニュースを意識するようにしてください。